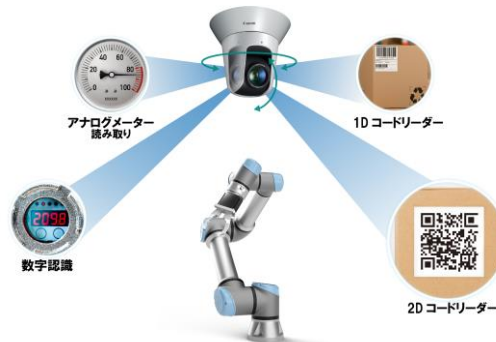


**画像処理ソフトウェア“Vision Edition-U”を発売  
キヤノンが日本企業で初めてユニバーサルロボット社のUR+認証を取得**

キヤノンは、生産現場の自動化を支援する画像処理ソフトウェア“Vision Edition-U”を2019年10月上旬より発売します。ユニバーサルロボット社（以下「UR社」）の協働ロボットと連携する“Vision Edition-U”は、日本企業で初めてUR社の認定製品プラットフォーム「UNIVERSAL ROBOTS+」（以下「UR+」）の認証を取得しました。



**“Vision Edition-U”がURロボットに提供する機能のイメージ**

近年、人件費の高騰や人手不足などから生産現場の自動化に対するニーズが高まっています。このような中、キヤノンは、「CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM」をコンセプトに、ネットワークカメラや産業用カメラなどのイメージング製品および、画像処理ソフトウェア「Vision Edition」（2018年3月発売）などを活用した生産現場の「見える化」を推進しています。

今回新たに発売する“Vision Edition-U”は、協働ロボットのリーディングカンパニーであるUR社製ロボット専用の画像処理ソフトウェアです。キヤノン製のネットワークカメラなどと組み合わせ、UR社製の協働ロボットと連動することにより、ロボットの手元から作業場の周囲まで、用途に応じて撮影・画像処理を行うことで、ロボットの「眼」の役割を担います。例えば、ロボットによる部品のピック&プレイス作業<sup>\*</sup>において、画像処理により作業の抜け漏れを発見・防止したり、ロボットで部品を電子はかりに乗せる作業において、デジタルで表示される重量を画像処理で認識し、基準を満たしているか確認を行ったりするなど、協働ロボットの作業に付加価値を与えます。

協働ロボットの特徴は、人との協働作業を前提に設計されており、生産現場の規模や種類に応じて、容易かつ柔軟に活用できることです。「Vision Edition」も、ネットワークカメラが持つ光学ズームやオートフォーカス、パン・チルトなどの機能を用いた柔軟な画像処理設定が可能で、特殊なプログラミングを必要とせず容易に導入できます。UR社の協働ロボットと“Vision Edition-U”を組み合わせることで、さまざまな生産現場の自動化に向けたソリューションを提供することが可能になります。

キヤノンは、今後も協働ロボットの「眼」の役割を担う、ネットワークカメラや産業用カメラ、画像処理ソフトウェア「Vision Edition」を幅広い協働ロボットに提供することで、生産現場の自動化を促進し、生産性や品質の向上に貢献していきます。

製品名	発売日
Vision Edition-U	2019年10月上旬

※ 特定の位置にある部品をつまみ上げ、決められた位置まで部品を移送する一連の作業。

● 一般の方のお問い合わせ先：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 03-6719-9843（直通）

NVS商品企画第一課

● FA製品ホームページ：https://global.canon/ja/product/indtech/fa/

## ■ CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM について

「CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM」は、キヤノンが提供する、生産現場向けイメージ一括管理システムです。キヤノンが持つ幅広いイメージング製品群、画像処理技術を活用し、生産現場の「見える化」を実現します。

\* CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM

<https://global.canon/ja/product/indtech/fa/>

## ■ UR 社について

2005年に設立されたUR社は、あらゆる規模の会社にロボット技術を活用いただくことを目的に、小型で、使いやすく、リーズナブルな価格設定で、フレキシブルかつ安全な産業用ロボットの開発を行っています。2008年に協働ロボット第一号を発表して以来、ユーザーフレンドリーなロボット\*の提供によって大きな成長を遂げており、現在では世界中で販売されています。UR社はTeradyne Inc.傘下の企業であり、デンマーク・オーデンセに本社を置き、米国、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア、チェコ、トルコ、中国、インド、シンガポール、日本、韓国、台湾、メキシコに子会社や支社を擁しています。2018年のUR社の売上高は2億3,400万ドルでした。

\*ユニバーサルロボット社

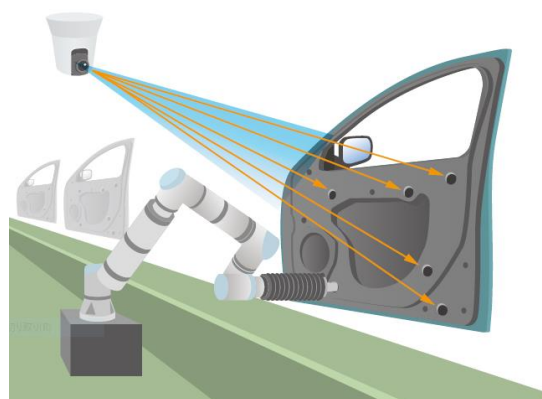
[www.universal-robots.com/ja](http://www.universal-robots.com/ja)

※ Collaborative Robot（コラボレーションロボット）の略称で、協働ロボットのこと。

## ■ “Vision Edition-U” の活用事例

### ① 自動車部品検査への活用例

自動車の部品を組み立てる工程で、UR社の協働ロボットがビスや各種パーツを組みつける作業において、キヤノンのネットワークカメラと画像処理ソフトウェア“Vision Edition-U”を活用。これまで人が目視で確認していたビスやパーツの組みつけの漏れを画像処理で自動認識し、漏れがあった場合は警告を出すなど、作業の効率化と品質の向上に寄与。

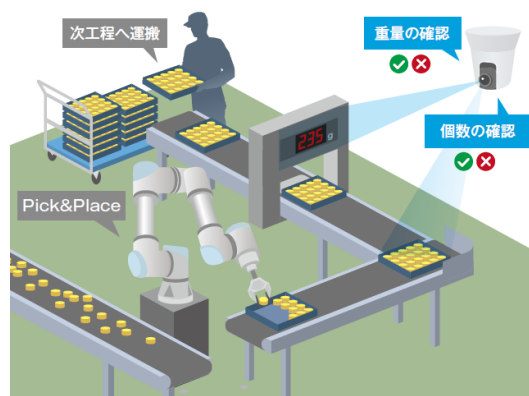


自動車部品検査への活用イメージ

### ② ピック&プレイス作業への活用例

キヤノンのネットワークカメラと“Vision Edition-U”を活用し、UR社の協働ロボットが、ピック&プレイス作業にてトレーに配列した部品の個数確認や、重量計のデジタル数値の読み取りによる重量確認が可能。

これまで人が目視で行っていた、ピック&プレイスの配列漏れ確認や不良品確認作業において、画像処理で自動認識し、誤りがあった場合は警告を出すなど、作業の効率化とミスの防止に貢献。



ピック&プレイス作業への活用イメージ